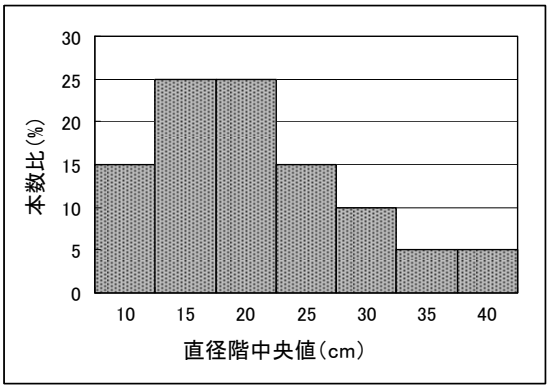
【森林施業特論　期末試験】

◇　次の文章を読み質問に答えよ。間伐前の径級構成は図のとおりとし、樹高は径級を問わず一定であるものとする。

「とうちゃんが、裏の山強めに間伐しとけイワはるさかいに、細いほうから三分の一の木ィにテープ巻いたってン。ホシタラ組合のシュウちゃんが来て、もっと太いの伐らな共販に出せヘンユーて、太いのから二割巻き足してン。そやけど振興局の鈴木さんが、そんなに伐ってもたら補助金出せヘンておこらはるさかい、細いほうから二割はずしたってン。うちの間伐率いったい何ぼや？」



問１．　間伐率はいくらか？

本数間伐率（　　%）

材積間伐率（　　%）

問２．この間伐は強度間伐にあたるか？　以下から選べ。

１．強度間伐である　　２．強度間伐ではない　　３．強度間伐かどうかを申し上げるつもりはない　　４．後世の歴史家の判断に委ねたい

第 12 回森林施業研究会シンポジウム
「強度間伐で勝負する？」

今回のお題は話題の強度間伐です。「やるべきだ」「やらざるを得ない」「もう少し考えよう」「やってはいけない」といった様々な立場からの議論を、ディベート形式をとりながら深めたいと思います。

趣旨説明　　代表：鈴木和次郎

1. 強度間伐は難しい（技術論として）　　岐阜県森林研究所・横井秀一
2. 強度間伐はできる（技術論として）　　琉球大学農学部・谷口真吾
3. 強度間伐は問題だ（政策・経営論として）　　森林総合研究所研関西支所・大住克博
4. 強度間伐でいこう（政策・経営論として）　　山口県林業指導センター・山田隆信

＊　４月３日の夜に懇親会を予定しています。参加歓迎。夕刻造林生態分科会場付近に集合ください。

4月4日

（水）　9:00～12:00

理学部2号館K会場

まだ林学をやっている

森林施業研究会

【全面広告】

施業研究会の新刊!

10 年余の■■を集大成！　あの■論が一冊に！

主張する森林施業論

22 世紀を展望する森林管理

森林施業研究会　編
日本林業調査会発行
ISBN978-4-88965-169-0 C0061
2007 年 03 月 16 日発売
定価：2,857 円（税込 3,000 円）

森林技術・森林公務員必読
注意! 採用試験参考書には不向きかもしれません

目次

刊行に寄せて（桜井尚武） 3
はじめに（鈴木和次郎） 5
総　論　持続可能な森林経営・管理とは何か（渡邊定元） 21
第Ⅰ章　持続可能な森林経営・管理の基礎理論　47
　第1節　生態系管理（大住克博） 49
　第2節　機能区分と適正配置（伊藤　哲・光田　靖） 62
　第3節　集水域管理（鈴木和次郎） 72
　第4節　林分施業（鈴木和次郎） 88
　第5節　天然更新施業（正木　隆） 101
　第6節　遺伝的多様性の保全（金指あや子） 117
　第7節　種多様性の保全　―種類が多ければすばらしい森林か？―（長池卓男） 130
第2章　持続可能な森林管理のための個別施業　139
　第1節　長伐期施業（澤田智志） 141
　第2節　複層林施業（竹内郁雄） 157
　第3節　混交林施業（長谷川幹夫） 166
　第4節　帯状・群状伐採方式（溝上展也） 176
　第5節　モザイク林施業（石神智生・鈴木和次郎） 188
　第6節　針葉樹の天然下種更新（豊田信行・石川　実） 197
　第7節　多様性を生み出す森林施業（広葉樹）（佐藤　創） 206
　第8節　多様性を生み出す森林施業（針葉樹人工林）（谷口真吾） 215
　第9節　立枯れ木・倒木管理　(大場孝裕) 229
　第 10 節　広葉樹二次林施業（横井秀一） 240
第3章　森林の保全・修復・再生技術　251
　第1節　森林生態系（保護林）の保全（渡辺定元） 253
　第2節　野生動物の保護（石田　健） 262
　第3節　ニホンジカの採食圧下における自然植生の保全（田村　淳） 272
第4節　絶滅危惧の希少樹種とその保全（金指あや子） 283
　第5節　景観の保全と創造（奥　敬一・深町加津枝） 293
　第6節　自然林再生のあり方（鎌田磨人） 301
　第7節　不成績造林地の修復（小谷二郎） 320
　第8節　水辺林の保全・再生（長坂　有） 332
　第9節　流域保全のための森林整備（小山泰弘） 340
第4章　推進のためのプログラム　347
　第1節　水源林の経験から学ぶ森林経営（施業）計画（泉　桂子） 349
　第2節　資源循環利用と森林管理（大住克博） 359
　第3節　NGO、NPO（渡辺定元） 369
　第4節　森林施業の史的考察と今日的課題（谷本丈夫） 378
それでも林業をする理由―あとがきに代えて―（大住克博） 388

まだ林学をやっている!
森林施業研究会